



編集・発行 邑楽町役場企画課  
〒370-0692(住所記入不要)  
☎0276-88-5511(代表)  
☎0276-47-5007(企画課直通)  
☎0276-89-0136  
http://www.town.ora.gunma.jp  
✉koho@swan.town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト  
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。  
携帯用URL http://www.town.ora.gunma.jp/k



〈第七十五回〉

若い人たちに語り継ぎたい、  
次の世代に残しておきたい。  
貴重な話をお届けしますー。

## あすへひとこと

いつの時代までも残したい

### 邑楽町の昔ばなし



ひな祭りの語源は「ひいな遊び」で人形を使ったおままごとのようなもの。この遊びと3月の厄払いが結びつき今の形になったそうです

### 三月三日の雛人形

三月三日のお節句に、男の子の雛人形祝いをするのは珍しいことです。中野蛭沼のある家ではその家風がありました。

昔、豊臣の家臣の武士が、関ヶ原の合戦で敗れ、戦い印の旗をたんで百姓姿に身をやつし、人目につかないようにして、命からがら、やっとこの地にたどり着きました。

当時の蛭沼辺りは、ぼうぼうとした山野地帯で人家もまれだったのでしよう。そこで、この武士は百姓としてこの地に隠れ住むようになったということです。徳川の勢力地帯である関東に逃れたのも敵を欺く逆手だったのかもしれない。

しかし百姓になったとはいえず、もと豊臣方の武士ということが徳川方に知れば、どんなことがあるか分かりませんから、その暮らし向きについても、いつも気が許せなかつたでしよう。

やがて男の子が生まれました。親としては、男の子の祝いに、あの関ヶ原の戦いの時に隠し持ってきた旗印を打ち立てたいのは、山々だったでしよう。しかしそれが出来ないのです。あくまで内々にしなければなりません。

それも五月のお節句でなく、三月の女の子の節句に代えるという用意周到さであり

ました。こうして無事、蛭沼に定着し、幸せな暮らしが出来ました。

やがて一族は「先祖がこうして幸福になったのだからのぼりは揚げずに、ひな人形にする」旗は決して揚げてはならない」と、代々の子孫に言い伝えたといわれます。

### 狸塚の日光山

今から約170年ほど前の、弘化3年(1846)の資料によると、大名などが川俣宿を通る時には、付近の村々から人夫や馬を差し出すことに決められていました。狸塚村もその内に含まれていました。いわゆる川俣宿の助郷村でありました。

宿駅に使う人馬の不足を補うために、近隣の村々から人馬を出させる制度を助郷といいます。これらの指図は宿場役人から村々の名主を通じて使役に出る百姓に伝えられました。この使役に出る人や馬は村の負担でした。文字通りの助郷です。人や馬の代わりに、現金で負担したこともあるようです。

狸塚村では助郷賃はいろいろな方法で出し合ったと思いますが、その一部に、この台地の山林の収入を充てたといわれます。こうして、日光勝往還川俣宿助郷の経費に充てられた台地であったので村人は、ここを日光山と呼ぶようになったといわれています。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会  
(平成10年12月31日発行「邑楽町の昔ばなし(第六集)あすへひとこと」)



迎春  
(多々良沼公園)



Photo 原田隆雄(記録ボランティア)

### ひとりごと From editors

▶「おぜのかみさま」に「かきくけこ」。じっくり読んでみると、当たり前のような内容にも改めて考えさせられます。標語をどう扱うのか、みんなが真剣に考えた分だけ効果はあるんじゃないかと思いました。▶成人式典の撮影は、やり直しが効かない一発勝負。撮影時「はあーあーちっ!」なんて声掛けをしてシャッターを切ります。そう、大人は20歳ですから。▶でも今、民法に定める成人年齢を「18歳」以上にする検討がされています。皆さんは、どう考えますか?▶18歳になったら「じゅうろ、はあーちっ!」なんてシャッターを切るのでしょうか。「18」だから「おおーはあーこっ!」とでも?……うーん……。▶羽織袴の男性が今年も複数人見られました。16年前の成人式典ではそれが1名でした。……私です。(深澤)